

日本臨床宗教師会主催 特別シンポジウム

岡部健と 臨床宗教師の10年



撮影 村上昭浩

令和5年5月20日（土）14時～18時

第1部 14:00～

岡部健医師没後10年 ～岡部健の想い、臨床宗教師の原点を探る～

対談:鈴木岩弓氏(東北大学名誉教授)×鈴木聡氏(石巻赤十字病院副院長)

第2部 16:00～

臨床宗教師養成10年 ～臨床宗教師、これまでの歩みとこれからの歩み～

レスポンスコメンテーター:浮ヶ谷幸代氏(相模女子大学名誉教授)

会場:せんだいメディアテーク 7階スタジオシアター(定員150名)
オンライン Zoom (定員200名)

参加費
無料

申込:下記URLまたはQRコードのリンク先フォームから
お申し込みください。

Zoom接続情報をメールでお送り致します。

<https://forms.gle/dYUsbVCNfMLxCc3x6>



お問い合わせ先

特別シンポジウム事務局 高橋悦堂

Email : sicj.symposium@gmail.com

シンポジウム詳細は裏面を御覧ください。

岡部健と臨床宗教師の10年

シンポジウムプログラム

第1部 14:00～15:40

岡部健医師没後10年～岡部健の想い、臨床宗教師の原点を探る～

臨床宗教師誕生の中心人物とも言える故岡部健医師。在宅緩和ケア医として、生と死の臨床に立ちながら、彼は宗教者に何を求めたのでしょうか。そして、「お迎え現象」に代表されるような日本人の宗教性や死生観などは死にゆく人のケアにどんな意味を持つのでしょうか。

次の時代の臨床宗教師像を考えるためにも、原点ともいえる彼の想いを問い直します。

- ・ハープ演奏 奏者:大福由喜氏(NHKディレクター)
- ・開会挨拶 金田諦應(日本臨床宗教師会副会長・実行委員長)
- ・対談(60分)「岡部健は臨床宗教師に何を期待したのか」
鈴木岩弓氏(東北大学名誉教授)×鈴木聡氏(石巻赤十字病院副院長)
- ・レスポンス:会場より



第2部 16:00～18:00

臨床宗教師養成10年～臨床宗教師、これまでの歩みとこれからの歩み～

2012年に東日本大震災の被災地石巻で第一期臨床宗教師研修がはじまり、10年が過ぎました。10年という時間を据え、臨床宗教師養成や組織のこれまでを振り返り、今後に向けた課題を探っていきます。

全国の地域臨床宗教師会から集められた臨床現場での課題や悩みをもとに、日本臨床宗教師会の「資格」、「倫理」、「継続研修」、「教育」の各委員会よりその課題に向けた対応と展望を発表します。

会場やコメンテーターからの意見を交え、シンポジウム参加者がこれからの臨床宗教師の姿や展望を考え、臨床宗教師の社会実装を描く指針を得ていただきたいと思います。

- ・趣旨説明 金田諦應(日本臨床宗教師会副会長・実行委員長)
- ・発表(60分) 日本臨床宗教師会 各委員会より
- ・レスポンス:会場より
- ・レスポンス:浮ヶ谷幸代氏(相模女子大学名誉教授)
- ・閉会挨拶 鎌田東二(日本臨床宗教師会会長・大会長)



せんだいメディアテーク 宮城県仙台市青葉区春日町2-1

交通アクセス(メディアテークHPより)

- 地下鉄 ・南北線勾当台公園駅下車、「公園2」出口から徒歩6分。
・東西線大町西公園駅下車、「東1」出口または「西1」出口から徒歩13分。
・東西線青葉通一番町駅下車、「北1」出口から徒歩15分。

バス 仙台市営バス 仙台駅前-60番
(仙台TRビル前、地下鉄仙台駅「中央2」出口前)のりばから
「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行き約10分、
メディアテーク前下車。



主催:一般社団法人日本臨床宗教師会

シンポジウム大会長・日本臨床宗教師会会長 鎌田東二

シンポジウム実行委員長・日本臨床宗教師会副会長 金田諦應

協力:東北臨床宗教師会、北海道臨床宗教師会、関東臨床宗教師会、中部臨床宗教師会、関西臨床宗教師会、中国地方臨床宗教師会、四国臨床宗教師会、九州臨床宗教師会、東北大学大学院文学研究科死生学・実践宗教学専攻分野

後援:宮城県宗教法人連絡協議会、医療法人社団爽秋会岡部医院仙台、愛知学院大学大学院文学研究科宗教学仏教学専攻、大正大学臨床宗教師養成課程愛知学院大学、高野山大学密教実践センター、種智院大学臨床密教センター、上智大学臨床宗教師養成プログラム、武蔵野大学臨床宗教師・臨床傾聴士養成講座、龍谷大学大学院実践真宗学研究科、NPO法人日本スピリチュアルケアワーカー協会(後援予定団体含む)